

第2章 医療施設調査・病院報告

1 施設数

令和2年10月1日現在の病院数は47施設（精神科病院9施設、一般病院38施設）で、前年に比べ2施設減少した。一般診療所は705施設で、前年に比べ10施設減少した。病床の有無でみた一般診療所数は、前年と比べて有床は同数、無床が10施設減少した。歯科診療所は257施設で、前年に比べ11施設減少した（表3-1）。

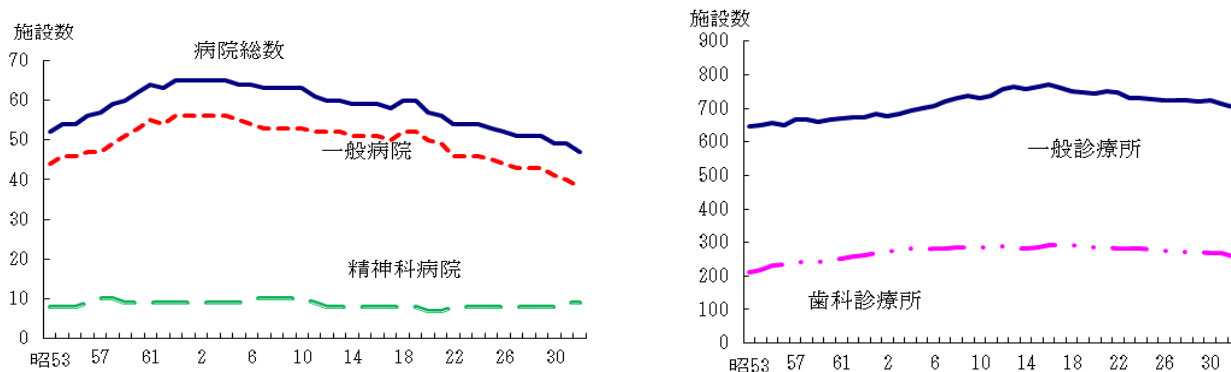
表3-1 医療施設の種別別にみた施設数

	施設数			構成割合 (%)	
	令和2年	令和元年	増減数	令和2年	令和元年
総数	1,009	1,032	△ 23	100.0	100.0
病院	47	49	△ 2	4.7 (100.0)	4.7 (100.0)
精神科病院	9	9	-	(19.1)	(18.4)
結核療養所	-	-	-	(-)	(-)
一般病院	38	40	△ 2	(80.9)	(81.6)
一般診療所	705	715	△ 10	69.9 (100.0)	69.3 (100.0)
有床	40	40	0	(5.7)	(5.6)
無床	665	675	△ 10	(94.3)	(94.4)
歯科診療所	257	268	△ 11	25.5	26.0

注：（ ）内の数値は病院、一般診療所の総数を100とした場合の構成割合である。

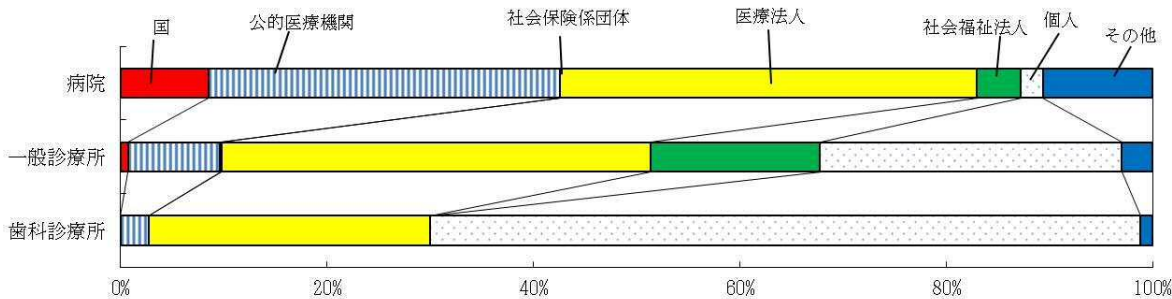
病院数の年次推移をみると、一般病院は昭和61年までは年々増加していたが、昭和63年から平成4年の65施設をピークに緩やかな減少傾向にある。精神科病院数は7～10施設で横ばいに推移している。一般診療所は平成16年までは緩やかな増加傾向にあったが、平成17年から減少傾向にある。歯科診療所は、緩やかな増加傾向にあったが平成18年をピークに減少に転じている（図3-1）。

図3-1 医療施設数の年次推移



医療施設の開設者割合をみると、病院は最も多いのが医療法人の40.4%で、ついで県、市町村等の公的医療機関の34.0%である。一般診療所は平成10年には個人が5割、医療法人が3割弱を占めていたが、年々個人の占める割合が減少し、医療法人の占める割合が増加したため、平成20年には医療法人が個人より多くなった。一般診療所における令和2年の状況は、医療法人が41.6%、個人が29.2%である。歯科診療所は大部分が個人で、68.9%を占めており、ついで医療法人が27.2%となっている（図3-2）。

図3-2 医療施設の開設者割合（%）



人口10万対施設数を前年と比べると、病院が0.3減少し、一般診療所が1.1減少した。全国と比べると、一般診療所は23.7高く、歯科診療所は15.5低くなっている。病院は同じ数値であった（表3-2）。

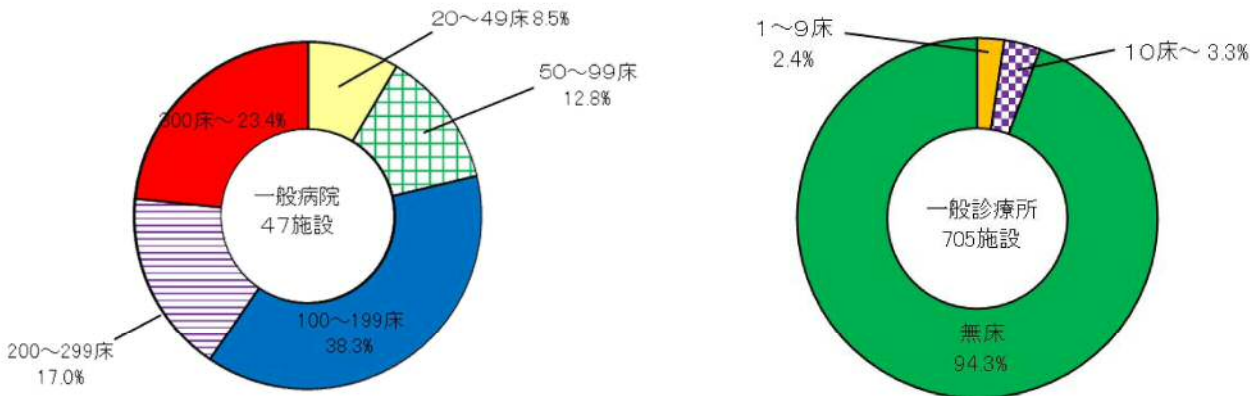
表3-2 人口10万対医療施設数

	島根県		全国
	令和2年	令和元年	令和2年
病院	7.0	7.3	7.0
一般診療所	105.0	106.1	81.3
歯科診療所	38.3	39.8	53.8

一般病院を病床規模別にみると、20~49床が8.5%、50~99床が12.8%、100~199床が38.3%、200~299床が17.0%、300床以上が23.4%であった。

一般診療所は1~9床2.4%、10床以上が3.3%、残りの94.3%は無床である（図3-3）。

図3-3 一般病院、一般診療所の病床規模別割合



2 病床数

令和2年10月1日現在の病院の病床数は前年に比べ426床減少した。病床の種別にみると、精神病床が18床、療養病床が165床、一般病床が243床それぞれ減少した。

また、一般診療所の病床数は前年から45床減少した（表3-3）。

表3-3 医療施設の種別別にみた病床数

	病 床 数			構成割合 (%)	
	令和2年	令和元年	増減数	令和2年	令和元年
総 数	10,275	10,746	△ 471	100	100
病 院	9,848	10,274	△ 426	95.8 (100.0)	95.6 (100.0)
精神病床	2,259	2,277	△ 18	(22.9)	(22.2)
感染症病床	30	30	-	(0.3)	(0.3)
結核病床	16	16	-	(0.2)	(0.2)
療養病床	1,781	1,946	△ 165	(18.1)	(18.9)
一般病床	5,762	6,005	△ 243	(58.5)	(58.4)
一般診療所	427	472	△ 45	4.2	4.4
歯科診療所	-	-	-	-	-

注：（）内の数値は病院の病床数総数を100とした場合の構成割合である。

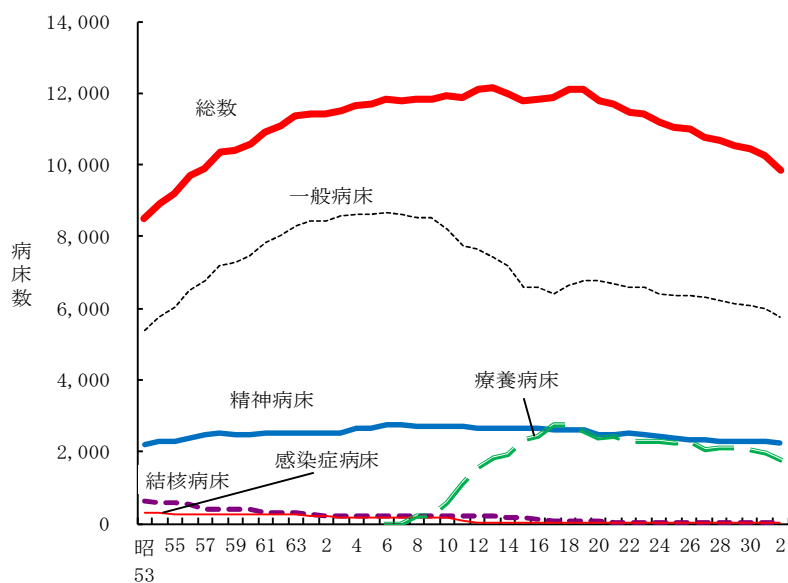
人口10万対病床数を前年と比べると、病院では、精神病床が1.2、療養病床が23.3、一般病床が32.3減少した。

また、一般診療所は前年より6.4減少した。病院における人口10万対病床数は、全国よりかなり高くなっている（表3-4）。

表3-4 人口10万対病床数

	島根県		全国
	令和2年	令和元年	令和2年
病 院	1,467.4	1,524.3	1,195.1
精神病床	336.6	337.8	257.2
感染症病床	4.5	4.5	1.5
結核病床	2.4	2.4	3.3
療養病床	265.4	288.7	229.2
一般病床	858.6	890.9	703.9
一般診療所	63.6	70.0	68.2

病院の病床数の推移をみると、総数は緩やかな上昇傾向にあったが、平成18年をピークに減少に転じた。一般病床は平成10年以降、療養病床の増加に伴い減少傾向にある。一方、療養病床は平成8年以降、年々増加していたが、平成18年の2,740床をピークに減少している（図3-4）



注1：)「一般病床」は、昭和62年～平成4年は「その他の病床」、平成6年～平成12年は「その他の病床（療養型病床群）をのぞく」、平成13・14年は「一般病床」及び経過的旧その他の病床（経過的旧療養型病床をのぞく）」である。

注2：)「療養型病床」は、平成12年までは「療養病床群」であり、平成13・14年は「療養病床」及び「経過的旧療養型病床群」である。

3 診療科目

県内 47 施設の病院のうち、内科を持つ病院が最も多く 41 施設で、ついで整形外科が 34 施設、神経内科が 31 施設となっている。令和元年と比べると腎臓内科等 14 診療科目が増加し、内科等 7 診療科目が減少した。

一般診療所 705 施設のうち、最も多い診療科目は内科の 552 施設であり、ついで小児科が 149 施設、消化器内科（胃腸内科）が 122 施設、循環器内科が 92 施設となっている。令和元年と比べると、糖尿病内科等 13 診療科目が増加し、リハビリテーション科等 17 診療科目が減少した（表 3-5）。

表 3-5 診療科目別にみた病院数、一般診療所数（重複計上）

表3-5 診療科目別にみた病院数、一般診療所数（重複計上）

	病 院			一 般 診 療 所		
	令和2年	令和元年	増減数	令和2年	令和元年	増減数
内科	41	44	△ 3	552	551	1
呼吸器内科	17	15	2	39	44	△ 5
循環器内科	25	24	1	92	96	△ 4
消化器内科 (胃腸内科)	22	21	1	122	130	△ 8
腎臓内科	11	8	3	7	4	3
神経内科	31	32	△ 1	28	34	△ 6
糖尿病内科 (代謝内科)	8	7	1	19	15	4
血液内科	4	4	-	5	4	1
皮膚科	24	25	△ 1	47	51	△ 4
アレルギー科	2	2	-	38	36	2
リウマチ科	4	3	1	19	23	△ 4
感染症内科	-	-	・	1	2	△ 1
小児科	26	26	-	149	150	△ 1
精神科	26	26	-	57	55	2
心療内科	8	6	2	40	36	4
外科	28	30	△ 2	61	63	△ 2
呼吸器外科	9	9	-	-	-	・
循環器外科 (心臓・血管外科)	7	7	-	1	1	-
乳腺外科	6	5	1	3	3	-
気管食道外科	-	-	・	-	-	・
消化器外科 (胃腸外科)	4	3	1	4	4	-
泌尿器科	21	20	1	20	20	-
肛門外科	5	4	1	12	14	△ 2
脳神経外科	15	15	-	8	11	△ 3
整形外科	34	34	-	66	63	3
形成外科	7	7	-	9	8	1
美容外科	-	-	・	1	2	△ 1
眼科	21	21	-	51	53	△ 2
耳鼻いんこう科	22	22	-	26	27	△ 1
小児外科	3	3	-	2	1	1
産婦人科	16	16	-	15	16	△ 1
産科	1	1	-	2	1	1
婦人科	6	5	1	14	12	2
リハビリテーション科	30	29	1	54	60	△ 6
放射線科	20	21	△ 1	20	24	△ 4
麻酔科	20	21	△ 1	15	15	-
病理診断科	7	7	-	-	-	・
臨床検査科	1	1	-	-	-	・
救急科	4	3	1	1	-	1
歯科	5	6	△ 1	6	6	-
矯正歯科	-	-	・	-	-	・
小児歯科	-	-	・	-	-	・
歯科口腔外科	12	12	-	-	-	・

4 利用状況

令和2年の1日平均在院患者数は7,825人であり、前年から485人減少した。うち、精神科病院は11人増加し、一般病院は496人減少した。1日平均新入院患者は275人であり、前年から21人減少した。1日平均退院患者数は276人で、前年より20人減少した。1日平均外来患者数は6,750人で、前年から493人減少した（表3-6）。

表3-6 病院・病床の種類別にみた1日平均在院・新入院・退院・外来患者数

	1日平均在院患者数			1日平均新入院患者数		
	令和2年	令和元年	増減数	令和2年	令和元年	増減数
病院総数	7,825	8,310	△ 485	275	296	△ 21
精神科病院	1,629	1,618	11	5	5	0
一般病院	6,196	6,692	△ 496	270	291	△ 21
病床総数	7,825	8,310	△ 485	275	296	△ 21
精神病床	1,928	1,941	△ 13	8	8	-
感染症病床	5	-	-	-	-	-
結核病床	5	3	2	-	-	-
療養病床	1,553	1,686	△ 133	8	8	0
一般病床	4,335	4,680	△ 345	258	280	△ 22

	1日平均退院患者数			1日平均外来患者数		
	令和2年	令和元年	増減数	令和2年	令和元年	増減数
病院総数	276	296	△ 20	6,750	7,243	△ 493
精神科病院	5	5	-	423	427	△ 4
一般病院	271	291	△ 20	6,327	6,816	△ 489
病床総数	276	296	△ 20	・	・	・
精神病床	8	8	-	・	・	・
感染症病床	-	-	-	・	・	・
結核病床	-	-	-	・	・	・
療養病床	12	12	-	・	・	・
一般病床	256	277	△ 21	・	・	・

注：端数処理のため、総数と内訳の集計数値が一致しない場合がある。

令和2年の病院の病床利用率は、総数が78.2%、精神病床が85.4%、療養病床が84.5%、一般病床が73.9%、結核病床が31.1%であった。（図3-5）

図3-5 病床の種類別にみた病院病床利用率の年次推移

